

学校名	岩手県 宮古市立 川井小学校
助成活動のテーマ	家庭・地域と連携した実践的な防災教育の推進
主な教科領域等	特別活動・道徳・総合的な学習の時間
助成活動に参加した生徒数	(全学年42人)(複数可) 携わった教員数 <u>14</u> 人
その他の参加者数	地域住民・保護者() 人 その他()
助成活動期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 2 月 28 日
想定した災害 ※該当するものに丸をつけてください。複数可。	<input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・ <input checked="" type="checkbox"/> 台風・ <input checked="" type="checkbox"/> 洪水・ <input checked="" type="checkbox"/> 河川氾濫・土砂・その他()

■助成活動の目的・ねらい

「自ら考える」をキーワードとして、家庭や地域と連携して「防災学習・訓練」を実施したり、「安心マップ」を作成・配布したりして、自然災害の危険時に自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」を育成する。

■助成活動内容

- 1 安全マップ<改訂版>(かわい ふるさと あんしんマップ)の作成と印刷製本
- 2 家庭・地域連携型防災学習・訓練にかかる専門家招聘にかかる旅費・謝金

■成果① 減災(防災)教育活動・プログラムの改善の視点から

- ・関係機関や地域・保護者と連携して取り組んだことで、より身近な学習となり、関心意欲の高まりが見られ、内容の理解にも深まりが見られた。
- ・教科等とのつながりがより見えるようになり、それぞれの指導内容等と関わらせ、系統的に防災学習に取り組むことができるようになってきた。



■成果② 児童生徒にとって具体的にどのような学び(変容)があり、どのような力を身につけたか。

- ・どんな条件の場所が危険かを理解・判断でき、危険予測や危険回避の能力が向上した。
- ・友達同士や地域の大人とのコミュニケーションが深まり、自ら相手に関わっていく態度が見られるようになってきた。
- ・自然や伝統、産業や人々等地域が有する素晴らしさに気づき、地域への愛着や誇りが生まれ、自ら積極的に「安全な社会」を築いていこうとする意識と態度が育まれてきている。



■成果③ 教師や保護者、地域、関係機関等の視点から

- ・子ども達の活動やあんしんマップにふれることで、地域の大人との結びつきが強くなり、地域住民の防災や防犯、交通安全への意識が向上してきている。



■自校の実践で工夫した点、特筆すべき点

- ・保護者、及び地域住民及び関係機関等と合同で防災学習・訓練を行い、地域全体としてのつながりを確認しながら意識の高揚を図り、互いの実践力を高めてきた。
- ・子どもの安全安心推進委員会として、防災だけでなく、交通安全、防犯を含む生活上の安全、いじめ防止を含む心の安全について事業等取り組んできた。



■実践から得られた教訓や課題と今後の改善に向けた方策や展望

- ・年間指導計画の見直し等を含めた持続可能なカリキュラムの作成
- ・さらなる教職員の意識の高揚と家庭、地域との連携